

With コロナ、After コロナの新たな企業活動形態における情報システム部門の役割に関する研究

—コロナで変化する企業活動を支える情報システム部門が優先すべき役割—

アブストラクト

1. 研究の背景と目的

企業活動を支える情報システム部門の役割は働き方改革での IT 活用や DX 推進等これまでの IT 戦略に加えて新型コロナウイルスの感染拡大に伴い大きく変化している。テレワークが急速に進んだ結果、情報システム部門の役割が増加しスピード感が求められ、各企業で情報システム部門の重要性が増しているため、After コロナで企業が情報システム部門へ求める優先すべき役割や取組みを検討、定義し各企業で課題を認識し、把握するための指針（ツール）を提示することが本分科会の目的である。

2. 仮説とアプローチ

本研究では企業活動を支える情報システム部門が優先すべき役割とあるべき姿は定義できると、仮説を立てた。実態調査および先行研究調査の結果をマンダラチャートで定義し、After コロナ以降の情報システム部門があるべき姿へ向かう指針を表すツールとしてワークシートを作成した。

- (1) 研究対象を企業内の情報システム部門、企業グループ内情報システム機能会社、IT ベンダーの 3 つとし、共通項となる課題を定義できれば大多数の企業へ本研究の成果が適用できると考えた。
- (2) 分科会メンバーの各企業で情報システム部門へ新たに求められた業務、リモートワーク拡大で生じた問題と企業 IT 動向調査 2021 等の先行調査を比較すると、リモートワークの環境整備、セキュリティ強化、コミュニケーション改善等の課題が共通していた。役割の変化をみると、With コロナでは企業の事業継続が最優先とされ、コスト削減や DX 推進が加わり、さらに新たな課題解決への取組みが求められていた。
- (3) (2) の調査結果から各企業が取り組むべき“After コロナで情報システム部門が優先すべき役割”をマンダラチャート（図 1）で定義し明確化した。

| | | |
|----------------------|----------------------------------|----------------------|
| 働き方改革に向けたリモートワーク環境強化 | DX加速に向けた取組み実施 | ビジネス貢献・事業部門との共創 |
| 情報セキュリティの強化 | コロナで変化する企業活動を支える情報システム部門が優先すべき役割 | スピード重視のシステム開発手法導入 |
| データマネジメント体制整備 | IT人材育成・全社のITリテラシー向上 | 情報システム部門の既存業務効率化・最適化 |

図 1 After コロナで情報システム部門が今後優先すべき役割 マンダラチャート A 型

3. 検証と結論

情報システム部門が After コロナで求められる多様な役割から優先すべき 8 つの役割を定義し、マンダラチャートで整理することが出来た（図 1）。また、インタビュー結果から本分科会が定義した 8 つの役割に対して「不足無し」との回答が半数以上となり妥当性が立証できた。結果、After コロナで企業が情報システム部門へ求める優先すべき役割の指針が提示できたと本分科会は考える。

情報システム部門が優先すべき役割を実行し、あるべき姿へ向かうため、現状分析、次へのアクションプランを立案できるワークシートを作成した。実用性に関する検証には至らないが、各役割において必要と思われる業務を例示したので、各企業でカスタマイズし活用することを期待している。